# 高校生の自主的歴史研究活動調査のお願い（案）

　　　　　　　　　　　　　　　　　2020（令和２）年11月１日

高大連携歴史教育研究会・高校生の自主的歴史研究活動調査ワーキング・グループ

（代表油井大三郎、　dyui@amber.plala.or.jp）

　2022（令和４）年から始まる歴史教育では「主体的・対話的で深い学び」の実現が重視さ

れています。このような学びは、教員側の新しい教育方法の開発によって実現すると同時に、

生徒自身の自主的な研究活動によっても促進されるものです。しかし、これまで生徒の自主

的な研究活動がどのように実施されてきたのかはあまり明らかになってきませんでした。

　そこで、高大連携歴史教育研究会では、ワークング・グループを立ち上げ、生徒による自

主的な歴史研究活動の実態を調査することにしました。自主的活動としては、１）総合学習

や探究科目などの正課（SGH校やSSH校などでの取り組みを含む）、２）課外の歴史系サ

ークル活動、３）地域や全国レベルの研究発表機会について実態調査をおこなうことにしま

した。お忙しいとは思いますが、2021（令和３）年2月末までにメールでご回答くだされ

ば幸いです。

以下の項目の中でお答え可能な部分についてご回答ください。ご回答が出そろった後に

報告書にまとめて公表しますが、この報告書が各方面で今後、生徒の自主的活動を奨励する指針を検討するうえで、少しでもお役に立てればありがたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いします。

1. 記入者名（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

➁　学校名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　③　学校の設置形態（　公立　　私立　　国立　　その他　　　　　　　　　　　　 ）

　④　報告書発表の際の記入者名公表（　可　　不可　）　学校名公表（　可　　不可）

I　総合学習・探求学習など正課における生徒の自主的歴史研究活動の実態。

1. 実施科目名（　　　　　　　　　　　　　　）　履修生徒数（　　　　　　　　　）
2. 実施時期　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
3. 単位数（　　　　　　　　　　　　）
4. SGH校・旧SGH校・SSH校に該当する場合はそのどれかを記入ください（　　　　）
5. 生徒の自主活動の内容（テーマ、調査方法、レポート提出の有無など）
6. 研究成果の発表形態（該当記号に〇印をつけてください。複数回答可）

i)校内の口頭発表会を行っている　　　　ii)校内でポスターセッションを行っている

iii)授業内などの単位で口頭発表を行わせている

　　 iv)外部団体への口頭発表・論文応募のコンクール等への応募を行わせたことがある場合、その団体名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　 v)その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 成績評価のやり方（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2. 大学進学にあたっての推薦材料に（　する　　しない　）

II　課外活動としての歴史系サークルの活動実態。

1. 歴史系サークルの有無　（有　　無　）
2. 有の場合、サークル名（　　　　　　　　　　　　　　　　）
3. 参加者数（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
4. 活動時期　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
5. 機関誌などの有無　（　有　　無　）　有の場合、

機関紙名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. サークル活動の内容

1. 活動成果の発表形態
2. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

III　生徒有志による歴史研究における地域的・全国的な発表機会について。

1. 研究発表の性格　　ｉ）正規授業の成果に基づくもの

　　　　　　　　　ii)　生徒の課外活動に基づくもの

1. その研究発表機会の名称（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2. 設立時期
3. 発表者の応募方法
4. 発表者への顕彰の有無（　有　　　無　　）

有の場合、顕彰の方法

　　　　　受賞者のテーマ

IV　その他、お気づきの点があれば自由にお書きください。